

馬驍水墨画会設立 35 周年記念

2014 年
第 11 回

馬驍藝術大賞展

第 2 回 作家展

水墨画、墨彩画 70 点と馬驍の澆墨無筆画 15 点初公開！

本会は、昭和 54 年静岡市で発足。水墨画の振興と地位向上を図り、水墨画界の団体を組織すると共に、各講座を開講する。

平成 3 年、本部を関東に移し、国内外で定期的に「馬驍水墨画展」を主催し、平成 11 年、美術評論家・室伏哲郎先生と版画家・北岡文雄先生（元・日本美術家連盟理事長）の勧めにより、名称を「馬驍芸術大賞展」に改める。

画会活動の理念は、水墨画を趣味の域を超え水墨画の創作の芸術性を追求し極めて、個性豊かな作品の制作の指導を行うことです。毎回、国内外の著名美術評論家、画家、書道家、彫刻家など実行委員長に就任頂き、ご指導を仰ぎながら、会員たちは創作に励んで参りました。「第 2 回作家展」の作品は、馬驍水墨画会で学んだ創作技法の発表の機会です。昨年は画集も発行し、画会活動の一つの成果である。

作家の条件は、まず第一に「画風」です。技術的、理論的習練の上に、その人生経験が加味され初めて生まれるものです。皆様の芸術の追求は、まだ道半ばです。各自がさらに一步一步先に進む努力をされることを期待しております。

今年は、画会設立 35 年を迎え「第 11 回・馬驍芸術大賞展」を開催致します。大賞展は会則に基づき水墨画をあらゆる分野の芸術と融合させて芸術創作を追求する機会です。今年も、いつも応援してくださる個人、法人、各界から多大な支援をいただき、例年通り開催できることになりました。心から感謝すると共に、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻をお願い致します。



第 11 回 馬驍芸術大賞展実行委員長 水野 渥

会 期：2014 年 12 月 20 日(土)～25 日(木) 入場無料
10：00～17：00（最終日は 15：00）

会 場：すみだりバーサイドホールギャラリー（墨田区役所内）
東京都 墨田区 吾妻橋 1-23-20 Tel. 03-5608-6430

主 催：馬驍水墨画会全国本部、馬驍芸術大賞展実行委員会

後 援：中華人民共和国駐日本国大使館文化部 日中文化交流協会
（公財）国際文化カレッジ（株）日貿出版社（株）可成屋

実行委員長：水野 渥（株）日貿出版社取締役会長

副実行委員長：味岡 義人（渋谷区立松濤美術館学芸員）

実行委員：西村 修一（著名彫刻家・元日本馬術連盟理事・馬驍水墨画会美術顧問）

梅田 宏（月刊誌「とも」編集長） 馬 景泉（書家・篆刻家）

王 珊（中国少数民族音楽家）

審査委員長：陳 達明

（美術評論家、馬驍水墨画会美術顧問）

審査委員：馬 驍（馬驍水墨画会主宰）

王荻地（馬驍水墨画会主任講師）

馬 艶（馬驍水墨画会講師）

桑原悠嘉（水墨画家）

運営委員長：上坂幸市

運営委員：田口婦美子、水上 玲

山崎重之、竹井嘉郎

道江義頼



東武・「浅草駅」正面口より約 5 分



「夕照」

馬 驍（澆墨無筆画）

馬驍芸術は父方の祖国・中国の水墨山水画法で、墨面の濃淡変化を積極的に用いる澆墨画法が母胎。これに西欧絵画技法を加味して、さらに母方の故国・日本のわびさびの詩情との渾然融合をめざす手法に半生を捧げてきたと言っても過言ではあるまい。

いわば東洋山水画の伝統的輪郭線に決別した前衛古典を源流とし、西洋の表現主義的抽象の洗礼をくぐり抜け、さらに神秘的の日常とも言うべき禅の悟りと魂の活力と多彩な変化を創作シユールする境地まで到達したというところか。馬驍芸術大賞展が実施され、色々優れた才能を発見されるというのは素晴らしいことだと思います。 美術評論家 室伏 哲郎



「囀り」

王 荻地（墨彩画）



「孔雀」

馬 艶（墨彩画）